

1 高齢化社会を迎えて安心して暮らせる住環境づくり

〔報告：石本幸良氏（㈱地域計画建築研究所 取締役計画部長）〕



洛西ニュータウンでは5階建て以上の集合住宅が7割、市営・府営住宅、UR等の賃貸住宅が6割を占めています。アンケート調査等では集合住宅の居住者の住宅満足度は比較的高く、現在は住環境の問題は顕著ではありません。しかし、今後住宅の老朽化やエレベーター未設置など住宅内外のバリアーの問題に加え、急激な高齢化の進行を考慮すると、集合住宅の高齢化問題や住環境問題の発生が予想されます。このような状況を踏まえ、高齢者が安心して暮らせる地域づくりに向けて、自助、共助のまちのシステムづくりが必要です。また、町内会や自治連合会の活動とNPO法人等のボランティア活動の融合により地域のつながりの再構築が求められています。

2 洛西ニュータウンの美しい自然とまちなみを次世代に敬称するまちづくり

(1) 住環境を守るための仕組みについて

〔報告：中島吾郎氏（財）京都市景観・まちづくりセンター事業第1課長〕



洛西ニュータウンが緑の豊かさやまち並み景観等で満足度が高いのは、皆さんが緑を大切に、当初のまちづくりの構想に沿った都市計画規制等を守ってこられた賜物です。しかし、社会状況の変化に伴い、皆さんが望まれる地域環境も変化し、現行規制だけでは実現できないこともあります。その際、地域住民が自分達で地域独自のルールを考え、現行規制に上乗せする制度（地区計画等）があり、洛西ニュータウンでもいくつか取り組まれています。ルールづくりでは、どのような住環境を目指すかを、住民同士で話し合い共有し、形にしていきます。ルールを第一歩に、皆さんの住環境を守っていきませんか？当センターが応援します。是非、ご連絡ください。（財）京都市景観・まちづくりセンター ☎075-354-8701

(2) 西竹の里タウンハウスの取組紹介

〔報告：岩倉紘一氏（西竹の里タウンハウス管理組合副理事長・環境部会委員）〕



このたび西竹の里タウンハウスは、「第4回住まいのまちなみコンクール」で最優秀賞国土交通大臣賞に選ばれ、住民一同大変喜んでおります。まちなみの「生みの親（設計・デザインの優秀さ）と育ての親（住民の維持管理に努めてきた努力）」が大きな評価ポイントでした。住民が建築協定を守り、景観維持に努めてきた点や大規模修繕により、屋根や外壁の一斉補修を行い、自主的なまちなみ維持と景観問題への取組が高く評価されました。偏に住民の皆様の理解と協力によるもので、今後もさらに維持管理に努力していきたいと思えます。

○ 勉強会をふりかえって（まとめ）

〔安枝英俊氏（委員会アドバイザー・京都大学大学院工学研究科助教）〕



洛西ニュータウンのまちびらきから30年が経過した今、住民の皆さんの価値観は多様化してきています。講師の先生方の専門的な知識を学ぶことだけが勉強会の意義ではありません。むしろ、多様な価値観を持つ住民の皆さんが、ニュータウンの将来像について議論する場として勉強会を開催しました。勉強会での議論を通じて、多様な価値観に触れ合いながらまちづくりを進めていくことが重要だと考えます。

発行

平成21年4月

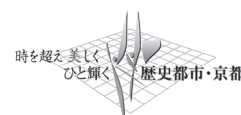
洛西ニュータウン創生推進委員会

（事務局：京都市西京区役所洛西支所まちづくり推進課）

住所：〒610-1143 京都市西京区大原野東境谷町2-1-2

電話：075-332-9318

FAX：075-332-8187



京都市印刷物 第214021号